

# 保 健 体 育

## 第 1 節 概 要

「第 3 次福島県長期総合教育計画」の「第 2 期実施計画」に基づき「心豊かな、たくましい人間」の育成をめざして、保健体育課においては、体育、保健・安全、給食の各分野の相互連携を図りながら平成元年度福島県教育委員会重点施策である「豊かな人間性と創造性をはぐくむ学校教育の推進」と「健康づくりをめざす体育・スポーツの推進」を柱として各施策の推進を図った。

さらに、平成 7 年に本県で開催される第 50 回国民体育大会に向けて、国体開催県にふさわしい優秀な成績を収めるため、競技力の向上施策については、競技力向上対策本部、企業スポーツ連絡協議会の整備充実、指導者の養成確保、選手の育成強化、特殊競技用具の整備など各般の施策を推進した。

### 1 学校体育の充実

学校体育担当教員の資質を向上させるため、各種体育実技指導者講習会をはじめ、武道（柔道・剣道）指導者養成講習会等を開催した。特に、教職員を対象とする講習会には民間人の中から優れた指導者を派遣して内容の充実を図るとともに、児童を対象とする指導協力者派遣事業（小学校の水泳）には豊富な経験を持つ民間指導者を学校に派遣し、児童の運動技能の向上及び教職員の指導力の向上を図った。

また、文部省指定「体力づくり推進校」「武道指導推進校」の研究推進をはじめ、県教委指定「体力づくり研究推進校」「集団・安全行動推進校」等の 3 年間の実践研究及び公開発表を契機として、その成果を地域の学校に普及させるように努めた。

さらに、本県児童・生徒の体力・運動能力の実態を把握するため、スポーツテストを実施し、その分析結果の活用を努めるとともに、各学校の実態に応じた体力づくりの推進を図った。

そのほか、小学校運動競技奨励事業を実施し、陸上競技会及び水泳競技会等を通して運動に親しむ児童の育成に努めるとともに、児童の体力・運動能力の向上を図った。

### 2 学校保健・学校安全の充実

学校における保健教育・保健管理の充実を図るため、学校保健関係教員を対象に保健教育・安全教育指導者研修会を開催したのをはじめ、新採用、5 年経験、中堅の養護教諭を対象に各養護教諭研修会を開催し、資質の向上に努めた。

また、児童生徒及び教職員の健康診断の内容の充実を図り、疾病・異常の早期発見に努めるとともに、学校保健委員会の組織活動等を促進し、学校保健活動の活性化に努めた。

さらに、児童生徒のむし歯予防の実践研究を推進するため、昭和 63 年度から 3 年間、文部省指定の研究推進校 1 校を指定し、むし歯予防の推進に努めるとともに、児童生徒の健康づくりを推進するため、平成元年度から 3 年間、県指定の研究推進校 1 校を指定し、健康教育の推進に努めた。

次に、学校における安全教育・安全管理の徹底を図るため、学校安全関係教員を対象に、交通安全教育指導者研修会等を開催し、資質の向上に努めた。

また、児童生徒を対象に「安全に関する図画・作文・習字・交通安全ポスター」の募集を行い、「国民安全の日」制定の趣旨の普及徹底を図るとともに、安全意識の高揚に努めた。

### 3 学校給食の改善充実

本年度の学校給食の実施状況を児童生徒数で見ると、完全給食は小学校で 98.0%、中学校では 79.6% の実施率となった。米飯給食は、小・中学校とも完全給食実施校では、100% の実施率となっており、週当たりの回数は平均 2.7 回である。

また、学校給食費は、1 食当たり小学校（中学年）で 209 円 90 銭、中学校で 245 円 02 銭となっている。

次に、学校給食の適正な運営・指導、及び栄養・衛生管理等の充実を図るために、学校給食関係職員に対して各種の研修会等を開催し、資質の向上に努めた。

また、食中毒や労働災害等の事故防止を図るため、文書・研修会・広報等により衛生思想の啓もう、安全管理の指導に努めた。

さらに、学校給食の改善充実の実践研究を推進するため、昭和 63 年度から 2 年間、県教委指定の「学校給食改善研究指定校」2 校を指定するとともに、子供の望ましい食習慣や基本的生活習慣の形成に資するため、日本体育・学校健康センター指定「学校給食における学校・家庭・地域の連携推進事業地域」を委嘱し、地域に根ざした学校給食の充実に努めた。

### 4 県研究大会の開催

第 13 回福島県学校体育、保健・安全、給食研究大会を須賀川市文化センターを主会場として 2 日間の日程で県内関係者 727 名の参加を得て開催した。

大会主題「自ら進んで健康な生活を実践することのできる幼児・児童・生徒の育成をめざして」に基づき、幼児・児童・生徒の健康の保持・増進を図るため、学校体育、保健・安全及び学校給食の諸問題について研究協議し、多くの成果を収めた。

### 5 社会体育の充実

体育・スポーツ活動の推進を図るため、学校体育施設の開放、体育・スポーツ団体への助成をはじめ、県総合体育大会（国体・東北総体選手選考会、県民スポーツ大会、スポーツ少年団体育大会）の開催や各種大会の共催、さらには、東北総合体育大会や国民体育大会・全国スポーツ・レクリエーション祭に役員・選手を派遣するなど、競技力の向上と生涯スポーツの普及・振興に努めた。

また、巡回スポーツ指導事業やスポーツ功労者等派遣指導事業を開催し、指導者の養成確保と資質の向上に努めた。

本年度は特に、'90 F I S ワールドカップフリースタイルスキー大会の共催、日中交歓卓球大会、'89 新体操ワコール